

教育研究評議会議事録（第215回）

日 時：令和4年 6月30日（木） 15時00分～16時45分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、藪、海妻、山本、横山、境野、八代、伊藤、
田代、村上、関野、松林、織田、宮本、天木、鎌田、小林、成田、萩原、澤井、
木崎、小藤田

欠席者：比屋根、木村、清水

配付資料

- 議題1 学生の懲戒について（上申）
- 議題2 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について
- 議題3 岩手大学教員養成支援センター規則の一部改正（案）
- 議題4 岩手大学におけるDX推進の方向性について（案）
- 報告1 令和3年度岩手大学監事監査実施報告について
- 報告2 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について
- 報告3 海外からの学生の受入に関する取扱いについて
- 報告4 学生の海外渡航に関する取扱いについて
- 報告5 教員人事に関する報告について（理工学部）
- 報告6 農学部共同獣医学科 評価結果及び内部質保証の取組結果 報告書
- 報告7 役員会報告（第544回～第546回）
- 報告8 経営協議会報告（第80回）
- 報告9 学長・副学長会議報告（第236回～第238回）
- 報告10 危機管理委員会議事録等（第83回～第89回）
- 報告11 令和4年度入試委員会（第2回）記録
- 報告12 令和4年5月1日現在の在学生数と卒業・修了生数の状況について
- 報告13 令和4年度定例会議開催日程

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 学生の懲戒について

学長から、学生の懲戒について諮る旨が述べられ、次いで、八代理工学部長から、資料に基づき、学生の違法行為の内容、教授会審議の内容及び処分案について説明があった。

審議の結果、原案のとおり退学処分が相当であるとし、学長から、本日付けで当該学生を退学処分とすることが述べられた。

2. 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について

学長から、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、先月の当会議において提案後、各部署等から出された意見を踏まえて字句の修正及び数値の加筆をしたとの説明があった。また、第3期中期目標期間における取組と成果をスライドに纏めたので、活用して頂きたいとの依頼があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、「中期目標の達成状況報告書」及び「第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書」を、当会議終了後に開催する役員会の審議を経て提出することとした。

3. 岩手大学教員養成支援センター規則の一部改正(案)について

学長から、岩手大学教員養成支援センター規則の一部改正(案)について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、教育職員免許法施行規則の改正及び教員免許更新制の廃止等に伴う所要の改正であるとの説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件は、本日付で施行する旨の付言があった。

4. 岩手大学におけるDX推進の方向性について

学長から、岩手大学におけるDX推進の方向性について諮る旨が述べられ、次いで、山本副学長から、資料に基づき、現時点での実施内容や組織体制などの案に対してご意見を頂きたいとの提案があり、数理・データサイエンス・AI教育及び人材育成イメージの概要と併せて次の説明があった。

- ・教育・研究・運営におけるDXを推進するために情報基盤センター及び理工学部システム創成工学科知能・メディア情報コースを再編・強化したい。
- ・各学部における教育・人材育成に関することは例示であり、今後、直接学部を回って意見交換を行い、十分に議論していきたい。
- ・応用基礎レベルの教育は、必要とする学生が他学部の授業を履修できるような共通的な科目にしたい。

審議において、教育内容、科目の担当体制、コンテンツ構築、高校での指導教員不足の状況などについて意見交換が行われた。また、昨年度から教養教育の一部では進めているが、初等・中等教育で学んできた学生が2年後に入学してくるので、早急に体系を構築し教育を始める必要があること、さらに、令和7年度改組と併せてカリキュラムに組み込む必要があることを確認した。

審議の結果、方向性に関して原案のとおり了承し、検討を進めることとした。

5. その他

なし

報 告

1. 令和3年度岩手大学監事監査実施報告について

監事から、資料に基づき、令和3年度岩手大学監事監査実施報告があった。阿部監事から、監査の概要及び監査結果について説明後、ガバナンス機能の強化、効果的・効率的な組織運営、大学と地域との連携強化、学部の将来構想、教養教育、学生との情報共有と協働及び PDCA への強化などについて意見が述べられた。下田監事からは、SNS の活用による大学の情報発信、学部のガバナンス、コンプライアンスの現状と課題及び未執行奨学寄付金の活用などについて意見が述べられた。

なお、阿部監事から、本報告書はサイボウズ・ガルーンに掲載しているもので、教職員からもご意見を頂きたいとの依頼があった。

2. 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について

藤代理事から、資料に基づき、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について、文部科学省から各大学の申請を受け付ける旨の通知があり、学長・副学長会議において審議した結果、評価指標の中から中期計画【6】の評価指標(13)「女性教員比率」を申請したとの報告があった。

学長から、意欲的な評価指標としての申請をするが、今後も達成に向けて議論は継続するとの付言があった。

3. 海外からの学生の受入に関する取扱いについて

藪副学長から、資料に基づき、外からの学生の受入に関する取扱いについて報告があった。

4. 学生の海外渡航に関する取扱いについて

藪副学長から、資料に基づき、学生の海外渡航に関する取扱いについて報告があった。

5. 教員人事に関する報告について(理工学部)

理工学部長から、資料に基づき、教員人事について2件の報告があった。

6. 農学部共同獣医学科 大学基準協会獣医学教育評価 結果報告について

7. 役員会報告について

8. 経営協議会報告について

9. 学長・副学長会議報告について

10. 危機管理委員会報告について

11. 入試委員会報告について

12. 在学生数と卒業・修了生数の状況について

資料のとおり。

13. 令和4年度定例会議開催日程の変更について

法人運営部長から、資料に基づき、令和4年度定例会議開催日程の変更について報告が

あった。

14. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の7月28日(木)の15時から開催することが述べられた。